



# 2010 ピースアクション IN ヒロシマ

## 原子爆弾が落とされて65年の夏 二度とこの悲劇を繰り返さないで…

### 参加者の声



岡地 小夜子さん

#### 2010年 広島ピースツアーに参加して

以前広島・宮島旅行に行ったことがありましたが、日生協のパンフレットの様々なピースアクションを見て、「特別な日に行くのだ」という気持ちになりました。

広島に着いて、まず「じっくり聞く被爆の証言」で植野浩さんの話を聞くことができました。次に「虹のひろば」で、被爆体験を本にした「さいごのトマト」著者の竹本成徳さん(元コープこうべ理事、元日生協連会長)のお話を聞きました。お2人とも偶然投下時、爆心地近くで行われていた建物疎開の作業をしていなかったため、生き残られたそうです。その後入った広島市の地獄もこうであるまいというくらいに地獄だった。おびただしい死体・黒くけの死体・腐敗の臭い・死体を焼く臭い、川に浮かぶひとつひとつをわが子ではないかと探す親…。私は心の底からこんなことは地上どこにもあってはならないと思いました。

「虹のひろば」には全国の生協の人たちが来ており、遠く北海道や関東から比べると、新幹線で1時間20分の大阪は近いなあと思いました。他生協のピースツアーの写真をみると、驚かされていることを実感しました。

6日(金)の平和祈念式典では、テレビで見たイスに座っている人だけでなく、大勢の人たちが平和公園に集まっていて、外国から来られている人たちもいました。また、学徒動員で犠牲になった方への慰霊所もありました。式典後、組合員さんが作った折り鶴を「原爆の子の像」近くの献納場所にしっかり届けました。そこには何万羽の千羽鶴がありました。

平和公園の碑めぐりはガイドさんのおかげで、それぞれの碑の細かな思いを知ることができました。原爆ドームが産業奨励館だった頃、販売していたもの(筆や金属製品)も見ました。行きたかった爆心地にも行けました。

路面電車から見える広島はふつうの現代の街です。しかしフリータイムで歩いた街には多くの原爆関係の碑や絵碑がありました。縮景園は涼しい大庭園ですが、ここも壊滅状態になり、慰霊碑がありました。

この日では、見ることでないものを、見る・感じる・感じることができ、私はこの日にヒロシマに来て良かったと思いました。



遠藤 和美さん

#### ピースツアーに参加して

毎日毎日、平和に過ごしている生活の中で、平和ボケした自分がいることをリセットするために、そして、子どもに口で言うより事実を自分の目で見ることで平和の大切さを理解してもらうために参加させていただきました。まずは参加させていただいて感謝しております。平和祈念資料館に足を運ぶのは5度目になりました。息子は3度目ですが、最初はとても恐ろしくて私の側から離れたかった子が、今回はマジマジと見入っている姿がありました。

組合員活動をしてた時の知人に、2年前広島に行った時偶然に会い、今回も記念資料館で偶然に会いました。別に電話番号を交換することもなく、お互いに多分また広島がどこかで会うだろうと別れましたが、大阪人が大阪で会うこともないのに、広島で2年振りの再開とは、なんだがおかしな気分でした。

6日の平和祈念式は、本当に暑かった。人だらけでまともに式を見ることはできず、マイクを通しての声を聞くのが精一杯でしたが、秋葉市長の核廃絶の訴えや潘基文国連事務総長の核兵器のない世界の訴えは、同じ場所ですんなりと近くで聞けたことはとても価値あるものでした。

最後に、このツアーで被爆のお話をしてくださった矢野美耶古さんがおっしゃっていた言葉を伝えます。「もう私たちは被爆の話を知っていつまで伝えられるかわからないから、あなたたちが伝えてほしい。」と。

#### 2010年 被爆地・広島で見たこと 平和グループ 山田 サキ子さん

2010年、この年の広島、ニューヨークで一緒に被爆者の故郷に立ちたいと思い参加させていただきました。

8月5日(木)午前10時より参加した「被爆者の証言」では、65年前の経験から嘘と本物を見分ける力をつけることの大切さを教わりました。「虹のひろば」では他の生協のブースを見せながら、NPT代表派遣報告が載った機関紙よどがわ6月号を配りました。

6日(金)の祈念式典では米、英、仏の代表、そして潘基文(パン・キムン)国連事務総長の初参加ということもありメディアも多く外国の方も多く参加されていました。国事務総長の「グラウンドゼロ(爆心地)からグローバルゼロ(大量破壊兵器のない世界)を目指す旅を続けています。核兵器のない世界という私達の夢を実現させましょう」の言葉に拍手。心のある行動をとった言葉がこんなに重みがあることに怖さも感じました。式典が終わり、千羽鶴を納める原爆の乙女の像へ行った後に「NPT再検討会議を終えて今後の平和活動について考える」に参加しました。草の根の運動を今迄以上に大きなものにしていく必要があること、そのために今迄以上の運動が必要なこと、非核原則の法制化に向けての運動、自治体へは「平和市長会議への参加」「広島・長崎議定書の要請、私達一人一人は署名と同時に広島・長崎の被爆実相を一人でも多くの方に伝えていくこと」「広島・長崎を覚えてもらう」その機会をより多く作り出すことなど、まだまだ老いてはられません。そんな広島行きでした。

#### ピースアクションinヒロシマに参加して! 山原 和子さん

私は2回目の参加です。この日も65年前を再現させるかのような、暑く晴れわたった日でした。私達、生協から参加した者のメイン集会は、広島県総合体育館で開催された「ヒロシマ虹のひろば」です。秋葉広島市長の挨拶に続いて、被爆の証言で元・日生協会長で元コープこうべの理事長の竹本成徳さんによる被爆時のお話は、ご自身・ご家族の話(中でも「さいごのトマト」の本にもなったお姉さんの最期の話)で、街中の様子とともに私の心に切々としみ込んで来ました。思わず体を固くして聞き入っていました。

会場には、各地の生協のブースがおかれ紙芝居、ビデオ、工作、展示と様々な取り組みが紹介されていました。

2日目は平和祈念式典後、《よどがわ》の皆さんと折り鶴を納めた後に、碑めぐりコースに行く人と分かれて行動し、「平和の創造 ~NPT再検討会議を終えて、今後の平和活動について考える~」というプログラムに参加しました。私は、ニューヨークでは生協の方々と一緒に行動できなかったのですが、報告された方や発言された方と共に行けました。既に平素から各単位生協で様々な取り組みが行われていることを知りました。《よどがわ》でもできることから平和のとりくみに参加していきたいです。



遠藤 怜くん

#### 「広島」

ぼくは8月5~6日まで広島に行きました。広島に最初は「いや」と言っていたのがあとから行く気になりました。

広島は暑かったですがすごく思い出に残りました。たとえば平和祈念館では原爆の恐ろしさやその時にきていた服、物などがいろいろあり勉強になりました。そして6日の原爆の落とされた日にはしりょう館の前でいろいろな人がしゃべっていました。そのことをいつまでも忘れません。

ほんとうに、ほんとうに、勉強になりました。

### 広

島は今年の8月6日で、原爆投下から65年目の夏を迎えました。《よどがわ》では、8月5日(木)~6日(金)の2日間、日本生活協同組合主催のピースアクション企画に《よどがわ》組合員とご家族6名、職員1名にて参加しました。今年はNPT再検討会議が開催され、平和記念式典に核保有国の米・英・仏の代表が参列するなど、核兵器廃絶に向けた機運の高まりの中での参加となりました。



### 1日目

#### 8月5日(木)

朝7時40分に新大阪駅に集合し、9時すぎに広島に到着。その後、日生協・ピースアクションに参加しました。

被爆の証言をされた矢野美耶古さんは元よどがわ生協の理事さん。

お子さん向けには、被爆直前までの街の風景や子どもの普通の生活を写したアニメの上映があり、平和について考えました。

午後からは、日生協主催の『虹色ひろば』に参加しました。



### 2日目

#### 8月6日(金)

朝7時30分に集合し、平和記念公園で行われる平和慰霊式典に向かいました。猛暑の中、肅々と式典は行われ、被爆当時の暑さが頭をよぎる中、改めて平和の尊さと願いが募りました。

その後、平和記念公園内の「風の中の母子像」前に集合し、日生協によるフィールドワーク(碑めぐり)に参加しました。



### NPT再検討会議の報告会が行われました

#### 各みぐるクラブにて

7月30日(金)、吹田勤労者会館にて親子を対象とした朗読劇と人形劇を行い、予想を上回る58名の参加がありました。「ういしゅ」さんによる朗読劇「ちいちゃんのかげおくり」とグループ「eye愛」による人形劇「びつおのほうやは病気です」の2本立てで行い、小さいお子さんも真剣に観ていました。親子で平和について考えるきっかけになりました。



#### 朗読劇 & 人形劇の会を開催

朗読劇

- 6月18日(金) 茨木みぐるクラブ NPTの事をわかりやすく見せてもらって良かった。
- 6月29日(火) 吹田みぐるクラブ 参加者に折り鶴をつくってもらってよかった。
- 島本みぐるクラブ 原爆のお話を聞いたり、考えたりするのは普段の生活ではなかなかないので良い機会でした。
- 7月2日(金) 豊中みぐるクラブ 平和を考えるよい機会となりました。
- 7月5日(月) 東淀川みぐるクラブ 被爆するのは自分たちで充分と思える日本人の精神の高さと、改めて「平和」の大切さを再認識しました。

#### NPT再検討会議報告以外に行われた平和についてのみ〜るクラブ活動

- 6月15日(火) 高槻みぐるクラブ 戦争と平和について考える立命館国際平和ミュージアムに出かけました。戦争の遺留品が多くあり、説明を受けながら戦争の悲惨なことがよくわかり、ちゃんと生きなあかんなと思いました。
- 西淀川みぐるクラブ 平和についての学習会として、ピースおおさかを見学しました。写真が衝撃的で、大阪大空襲だけでなく、他国の戦争の悲惨さを訴える写真もあり、この戦争も子どもたちが被害にあっていました。